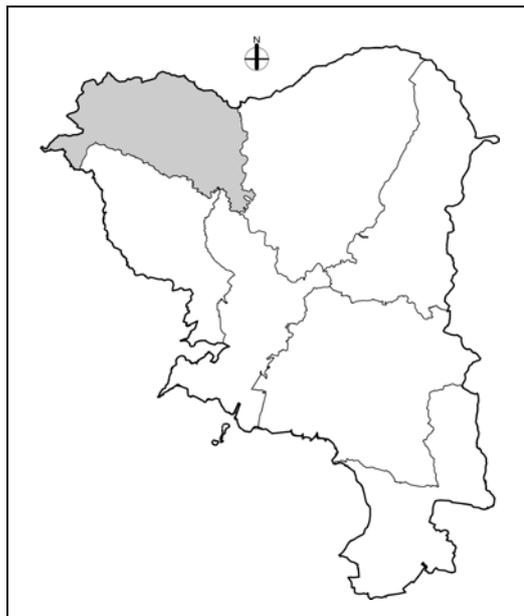


## 4. 横川地域

### 4-1 地域の現況特性と主要課題

#### (1) 現況特性

- ・横川地域は、かつて山ヶ野金山の鉄道輸送拠点として栄えた歴史を有し、JR肥薩線が通り、九州縦貫自動車道横川インターチェンジが設置されています。
- ・人口は、平成17年時点において5,235人であり、近年減少を続けています。また、高齢化率は32.7%となっています。
- ・霧島連山の西麓、天降川水系の上流部にあたり、平地が少なく、谷筋の道路沿い等に農地・集落地が分布するほか、工業用地としての土地利用もみられます。
- ・農業が盛んで、「すいか・茶・きゅうり」などの特産物があるほか、広域交通の便が良いことから先端技術産業も立地しています。
- ・JR大隅横川駅・横川総合支所周辺には、主要な公共施設や商店街があります。
- ・主要地方道牧園薩摩線沿いの一帯などが横川都市計画区域に指定されています。



#### (2) 主要課題

- ・人口の減少や高齢化が進行しており、高齢者の生活を支える定住環境の整備とともに、地域の活力を高める産業・交流機能の強化が必要となっています。
- ・地域内の連携及び市中心部や周辺地域との連携を強化するため、地域内外を結ぶ道路網の整備や公共交通の再編・充実に努める必要があります。
- ・土砂災害の危険個所や浸水実績のある地区等における自然災害の防止、JR大隅横川駅周辺の道路の狭い密集した地区などの生活環境の向上に努め、快適で安心・安全な地域づくりを進める必要があります。
- ・上ノ地区、下ノ地区の水田や散在する畑などの農地の保全・農業生産環境の維持向上とともに、田園地帯の貴重な自然環境や歴史・文化資源を保全し、魅力的な地域づくりに生かしていくことが求められます。



桜の名所として有名な丸岡公園

## 4-2 将来の整備目標

## (1) 将来イメージ

水と緑、歴史・文化とともに、人と人がふれあい、  
交流しながら、豊かに住み続けるまち

## (2) 整備目標

横川インターチェンジ周辺を「広域交通拠点」とし、自然と歴史文化環境を保全・活用しながら、活力あるまちづくりを進める

JR大隅横川駅<sup>おおすみ</sup>\*前・横川総合支所周辺を「地域拠点」と位置付け、地域の活性化や生活利便性の確保等に向けた土地利用を推進するとともに、良好な住環境等を保全し、拠点性の維持・向上を図る

快適で安心・安全に暮らすことができる魅力的な定住環境づくりを進める

## 4-3 まちづくりの整備方針

## (1) 土地利用の方針

- ・先端技術関連の進出企業が立地する上ノ工業団地をはじめ、主要地方道牧園薩摩線沿道及び主要地方道栗野加治木線沿道の工業団地や工業適地を、地域の産業・流通拠点と位置付け、既存工業団地内の未利用地については企業誘致を進め、有効利用を図ります。
- ・地域拠点を除く丘陵森林農業地域については、無秩序な市街地の拡大を抑制するエリアとして位置付け、自然と調和した地域環境の維持に努めます。
- ・農業施策との連携を図りながら、農業生産基盤の整った優良農地の保全に努めます。
- ・山岳森林地域については、水源涵養機能を担う保安林等の適切な維持管理に努め、健全な森林としての保全を図ります。

## (2) 市街地整備及び住環境整備の方針

- ・JR大隅横川駅<sup>おおすみ</sup>前の横川総合支所周辺については、身近な商店街や医療機関などの生活サービス機能を維持し、既存住宅地における良好な住環境の保全を図ります。
- ・仲町等の地域拠点エリア内の都市基盤が未整備な住宅地については、住宅の建替えにあわせた狭隘<sup>きょうあい</sup>道路の解消やオープンスペースの確保等を誘導し、安全で快適な住環境の向上を促進します。
- ・安良<sup>やすら</sup>小学校周辺や佐々木小学校周辺及びJR霧島温泉駅周辺など、比較的利便性が高い集落の住宅地整備、生活利便施設の充実を図り、地域における定住・移住を促進するとともに、その他の集落地の住環境保全・整備を促進します。

## (3) 道路・交通施設整備の方針

- ・地域内の連携や丸岡公園等のレクリエーション拠点へのアクセス性を高めるため、JR大隅横川駅、横川インターチェンジを拠点とした幹線道路網の充実を図り、幹線道路等の整備予定区間の整備を促進します。
- ・地域拠点を重点として生活道路の改良整備を図り、バリアフリー等に配慮した安全で快適な身近な交通空間づくりに努めます。
- ・本地域から牧園地域、霧島地域、福山地域を経て国道10号に至る外環状線の整備を検討します。
- ・鉄道、路線バス、ふれあいバスの連携を図るなど地域公共交通の見直しを行い、日常生活において公共交通を必要とする市民の移動環境の向上に努めます。
- ・JR大隅横川駅においては、駅構内での地域公共交通に関する積極的な情報提供に努めるとともに、駅舎等を活用したイベントの実施などにより拠点性の向上を図ります。

## (4) 都市公園・緑地整備の方針

- ・霧島連峰を一望する丸岡公園（総合公園）については、住民はもちろん広域的なレクリエーション拠点として、桜・ツツジの美しい環境を保全するとともに、施設の充実を図ります。
- ・その他の既存公園については、環境の保全を図るとともに、新たな公園の適正配置について検討します。また、これらの施設の維持管理については、地域住民との協働を検討します。

## (5) 下水道・河川整備の方針

- ・合併処理浄化槽の普及を推進し、生活環境の向上を図ります。
- ・天降川については、計画的な改修による治水対策を進めるほか、奥天降川流域においては牧園地域とつながる水辺空間として、保全・活用に努め、魅力ある空間の創出を目指します。
- ・清水川、紫尾田川、万膳川、馬渡川等の河川については、地域の特性に応じた総合的な治水対策を進めるとともに、豊かな水辺環境の創出を検討します。

## (6) 供給処理関連施設整備の方針

- ・簡易水道施設の維持・充実を図るとともに、地域内に立地する横川城山不燃物処分場の適正な維持管理に努めます。

## (7) 都市環境形成と保全の方針

- ・土地利用の適切な規制・誘導と市民・行政の協働により、本地域の特色である山林と河川、農地等が調和した、優れた自然環境の維持・保全を図ります。また、斜面緑地等を保全するため、必要に応じて緑地保全地域等の指定を検討します。
- ・天降川<sup>あもり</sup>の源流地や天降川<sup>あもり</sup>、清水川等の河川・溪流を保全し、観光資源としても活用します。
- ・横川城跡について、歴史文化とふれあえる場所としての整備を検討します。
- ・関係法令に基づき、本地域で確認されているアオハダトンボなどの貴重な動植物の生息・生育環境を保全します。
- ・丸岡公園をはじめ自然と親しめる拠点等を活用しながら、環境学習や自然とのふれあいを促進します。

## (8) 都市景観形成の方針

- ・天降川、清水川に沿った河川・溪流等の景観を「水と緑の景観軸」と位置付け、大出水湧水など重要な景観資源として保全・活用します。
- ・緑に包まれた森林や河川・溪流、田園風景が織りなす自然的景観、安良神社<sup>やすら</sup>や県内最古の木造駅舎であるJR大隅横川<sup>おおすみ</sup>駅舎、伝統ある住宅、石造倉庫等の歴史・文化的景観、屋敷林等を有する良好な住宅地の景観など、本地域の特色ある景観を地域の誇りとし、市民と行政の協働により保全・創出を図ります。

## (9) 都市防災の方針

- ・主要地方道栗野加治木線、主要地方道牧園薩摩線、県道紫尾田<sup>しびた</sup>牧園線等の緊急輸送道路においては、防災機能の確保に努めます。また、市有建築物や住宅・建築物の耐震化の促進を図ります。
- ・地域住民と行政の協働により地域防災体制を強化し、災害時の被害軽減に努めます。

■ 横川地域まちづくり方針図



凡例

土地 利用		丘陵森林農業地域
		山岳森林地域
		集落地
		農用地
		保安林
交通		都市計画区域
		高規格幹線道路
		インターチェンジ
		地域高規格道路 (計画路線)
		主要幹線道路
通		幹線道路等
		整備予定道路 (概ね10年以内)
		〃 (概ね10年以上)
		鉄道・駅

公都 園市		総合公園
		近隣公園
その他		工業団地・工業適地
		河川
		地域界
		行政界